

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 260

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	市民部 国保医療課
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 6. 後期高 現年		
事業名	後期高齢者医療事業				
細事業名	後期高齢者医療事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	奥村 秀臣

## 1. 事業の概要

後期高齢者医療制度の運営主体である京都府後期高齢者医療広域連合に対し、事務費及び療養給付費の負担を行う。又、後期高齢者医療事業特別会計に対し、保険料賦課徴収及び保険基盤安定繰出等に係る繰出金を支出する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

市民が生涯を通じて健康で安心して生活できるための事業。  
 京都府後期高齢者医療広域連合の人件費、事務費等を構成する各市町村が負担し支出。また、医療給付に要する経費の各市町村分を支出。  
 後期高齢者医療事業特別会計の事務費分と京都府広域連合へ支出する保険基盤安定負担金分を特別会計へ繰出金として支出。

### ②事業を実施する必要性

平成20年度から後期高齢者医療制度の施行に伴い京都府後期高齢者医療広域連合が組織され、広域連合により京都府の75歳（一定の障がいがあり認定された方は65歳から）以上の医療業務が運営されている。この制度を運営していく上で必ず必要なものである。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円		468,804	515,546	501,504	530,339	535,000	535,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳	千円		0	0	0	0	0	0
使用料・手数料等	千円		0	0	0	0	0	0
国・府支出金	千円		74,391	77,526	80,059	84,000	80,000	80,000
地方債	千円		0	0	0	0	0	0
一般財源	千円		394,413	438,020	421,445	446,339	455,000	455,000
職員等の従事人員	人/年	—	0.35	1.85	1.95			
人件費	千円	—	2,476	12,025	13,016			
事業費総額	千円	—	471,280	527,572	514,520			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

療養給付費負担金	350,232,278円
共通経費負担金（広域連合分賦金）	13,050,913円
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	138,220,352円

## 5. 事業結果の概要

被保険者数 6,035人（H23.3月末）

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

今後、国の制度見直しにより後期高齢者医療の廃止が行われ、国保・被用者保険に移行されていく方向であるが、市民にわかりやすい制度として理解いただけるように引き続き啓発等必要である。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

引き続き制度内容の周知・広報、電話・訪問によるきめ細かい説明を続ける必要がある。今後制度は廃止され、新たな仕組みが導入される方向である。高齢者にわかりやすい制度にすべきである。

##### ■平成21年度の所属長評価

①事業執行にあたり議論を重ねた点

制度の周知方法

②当該事業のアピール事項

制度の周知のための広報、電話・訪問によるきめ細かい説明

③反省点、今後の展開・方向性等

制度そのもの見直しが検討されている。高齢者にとってわかりやすい制度にすべきである。